

## 和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会の実施について(報告)

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会規程第3条第1項の規定に基づき、令和4年度第1回和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時 令和4年8月30日(火) 15時00分～17時00分
2. 場 所 和歌山県立医科大学管理棟2階特別会議室(オンライン開催)
3. 出席委員 委員長 山口 悦子(大阪公立大学)  
副委員長 中川 利彦(パークアベニュー法律事務所)  
委員 石井 浩子(NPO法人いきいき和歌山がんサポート)
4. 院内出席者 管理者・病院長 中尾 直之  
医療安全管理責任者・副院長 加藤 正哉  
医療安全推進部長 水本 一弘  
薬剤部副部長 吉田 薫  
(医薬品安全管理責任者代理)  
臨床工学センター工学技士長 中村 一貴  
(医療機器安全管理責任者代理)  
事務局次長(病院担当) 楠石 由則  
危機対策室長 島 康弘
5. 議事次第 1. 医療安全管理者及び医療安全担当部門の業務範囲と権限について  
2. 和歌山県立医科大学附属病院の事業継続計画(BCP)について
6. 監査結果  
議題 1. 医療安全管理者及び医療安全担当部門の業務範囲と権限について
  - ・医療安全管理者及び医療安全担当部門の業務範囲と権限については、文書化されており、策定及び承認のプロセスも適切に整備されている。
  - ・医療安全については、医療安全推進研修会で、eラーニングなどを取り入れ、全職員対象に研修を実施しており、インシデントに関する研修についても、動画で事例等を見ることで受講者も具体的にイメージしやすい点など評価できる。
  - ・各科の診療科長が医療安全ラウンドで病棟を巡回することが、伝統として継承されていることが評価できる。また、その姿勢が、医療安全に対する模範として、職員や若い医師、学生の教育的観点からも非常に重要なことであり、評価できる。
  - ・医療機器安全管理責任者の配置について、他施設の状況なども敏感に情報収集し、院内の状況なども踏まえ、変更を検討するなど、「しなやかな安全文化」を醸成されて

いる。

## 議題 2. 和歌山県立医科大学附属病院の事業継続計画（BCP）について

- BCP については、大学に危機対策室が設置されており、専任の職員が配置されていること、また、専任の職員が BCP について理解し、詳細に説明できることが評価できる。
- 災害に関する訓練も頻回に実施していることも評価できる。
- 和歌山県立医科大学附属病院は、立地的に津波の浸水リスクなどの心配もあり、機材や医薬品の倉庫の場所など、想定外の災害状況も含めて、今後も BCP の見直しや、改善を行っていただきたい。
- 災害は想定外を想定した対応をするという、非常に矛盾した難しい対応が必要となるが、それに対応するには、柔軟なチームワーク、柔軟なリーダーシップが大切となる。和歌山県立医科大学附属病院らしい「しなやかな安全文化」「しなやかなリーダーシップとチームワーク」を引き続き育てていただきたい。

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会  
委員長 山口悦子